

旧	新
<p>I. 総則 1～3 II. 原稿の種類 4. (投稿原稿) (略)</p>	<p>I. 総則 1～3 II. 原稿の種類 4. (投稿原稿) (略)</p>
<p>5 (依頼原稿) 国の内外における研究の動向、情報を会員に提供するために、編集委員会が企画、依頼をする。依頼原稿の種類は総説、解説、講座、資料および技術レポートとし、技術レポートについては原則として地域担当編集委員がこれに当たる。 ① 技術レポート：各地域で開発された技術等の内容を簡潔にまとめたもの。 ② 講座：特定のテーマについて、研究の最前線を分かり易く紹介した複数回のシリーズもの。例えば、新たな測定・解析方法、考え方の背景、今後の展開方向等を解説したもの。</p>	<p>5 (依頼原稿) 国の内外における研究の動向、情報を会員に提供するために、編集委員会が企画、依頼をする。依頼原稿の種類は総説、解説、講座、資料および技術レポートとする。 <u>① 技術レポート：現場の問題を共有し研究連携を促進するため、地域担当編集委員が企画し、各地域の研究で得られた知見や開発された技術等の内容を簡潔にまとめたものとし、地域担当編集委員および常任編集委員の査読・審査を受ける。</u> ② 講座：特定のテーマについて、研究の最前線を分かり易く紹介した複数回のシリーズもの。例えば、新たな測定・解析方法、考え方の背景、今後の展開方向等を解説したもの。</p>
<p>6 (原稿ファイル) 原稿は、本規程および別に定める原稿執筆規程に従い、ワープロソフトや図表ソフトを使って作成する。用紙の大きさは、A4 判で横26字×縦25行とし、行間5 mm 以上、上下左右のマージンを25mm以上とする。また、原稿には行番号を付けるとともに、中央下には必ずページ番号を付ける。審査はPDFファイルで行うので本文と図表は一つのPDFファイルにまとめる。</p>	<p>6 (原稿ファイル) 原稿は、本規程および別に定める原稿執筆規程に従い、ワープロソフトや図表ソフトを使って作成する。用紙の大きさは、A4 判で横26字×縦25行 1 ページに 1 行31字×28行とし、行間5 mm 以上、上下左右のマージンを25mm以上とする。また、原稿には通し行番号を付けるとともに、中央下には必ずページ番号を付ける。審査はPDFファイルで行うので本文と図表は一つのPDFファイルにまとめる。</p>

<p>III. 原稿の作成, 送付および取り扱い 6~8 (略)</p> <p>9. (原稿の規定枚数) 原稿の長さは原則として図表を含めて以下のページ数以内とする (26字×25行の原稿4枚が約1ページに相当する). 報文7, ノート3, 総説7, 解説・資料・講座6, 技術レポート4, 会員のひろば1. 依頼原稿のページ数は指定することがある. 受付時点でページ数の大幅な超過が予想される場合は, 編集委員会で検討の結果, 著者あてに返却されることがある.</p>	<p>III. 原稿の作成, 送付および取り扱い 6~8 (略)</p> <p>9. (原稿の規定枚数) 原稿の長さは原則として図表を含めて以下のページ数以内とする (31字×28行の原稿3枚が約1ページに相当する). 報文7, ノート3, 総説7, 解説・資料・講座6, 技術レポート4, 会員のひろば1. 依頼原稿のページ数は指定することがある. 受付時点でページ数の大幅な超過が予想される場合は, 編集委員会で検討の結果, 著者あてに返却されることがある.</p>
<p>IV. 審査 10~13</p> <p>V. 著者校正 14</p> <p>VI. 投稿料, 超過ページ代など 15~19 (略)</p>	<p>IV. 審査 10~13</p> <p>V. 著者校正 14</p> <p>VI. 投稿料, 超過ページ代など 15~19 (略)</p>
<p>付則: 本規程は2019年4月1日以降に投稿された原稿に適用される.</p>	<p>付則: 本規程は2020年3月1日以降に投稿された原稿に適用される.</p>
<p>別に定める事項 (略)</p>	<p>別に定める事項 (略)</p>